

循環器内科

【当科でローテーションしたら】《2か月の例》

1. 何科に進んでも大切な胸痛，全身倦怠，動悸，息切れ等，循環器主要症候への対応をマスターします。
2. 急性冠症候群，心不全，不整脈，ショック患者への初期対応をマスターします。
3. 心エコー法の取得と診断を学びます。
4. 虚血性心疾患に対してのカテーテル検査・治療（経皮的冠動脈インターベンション）を経験します。
5. 不整脈に対してのカテーテル治療（カテーテルアブレーション）を経験します。
6. 器質的心疾患へのカテーテル治療（経カテーテル大動脈弁留置術など）を経験します。
7. 植込み型心臓デバイス（ペースメーカー、植込み型除細動器、心室再同期療法など）を経験します。
8. 肺高血圧症の診断と治療を学びます。
9. 心筋症の診断と治療を学びます。
10. 中心静脈カテーテル留置を経験します。

【専門研修に向けて(希望者には)】

1. 心エコーのマンツーマン指導
2. 心臓カテーテル検査の実技指導

【研修目標と評価】

一般目標

患者診療の基本となる病歴，身体所見，病態を正確に把握できるような能力を身につける。

日常診療で頻繁に遭遇する心血管系疾患への適切な診断と対応ができるように，入院患者の受け持ちと外来診療によって基本的な臨床能力（態度，技能，知識）を身につける。

行動目標

1. 患者診療の基本となる医療面接，身体診療を正確に行うことができる。
2. 医療面接，身体所見，検査所見，放射線検査所見の異常から虚血性心疾患，不整脈，心不全，心筋症，先天性心疾患を診断できる。
3. 心血管疾患の正しい治療計画を立案できる。危険因子を管理できる。
4. 高血圧の診断と適切な治療ができる。
5. ショックの診断と適切な治療ができる。

6. 心エコーがとれる。
7. 救急患者に対応できる。

チェックリスト《5段階評価》

知識：

1. 心音，心雑音の聴診による病態把握ができる。
2. 胸痛をきたす疾患の鑑別ができる。
3. 心血管作動薬を適切に使用することができる。

技能：

1. advanced cardiovascular life support (ACLS) ができる。
2. 心エコーの一般所見がとれる。
3. ペースメーカー管理ができる。
4. 中心静脈カテーテルが挿入できる。
5. 適確な症例提示と討論ができる。

詳しい検査をオーダーする能力：

1. 負荷心電図
2. ホルター心電図
3. 心エコー
4. 左心カテーテル検査と冠動脈造影検査
5. 心筋シンチグラフィ
6. 右心カテーテル検査
7. 脈波
8. マルチスライスCTによる冠動脈評価

【方略】研修方法

1. チームの一員として入院患者を数名担当し，上級医，指導医とともに診療に当たる。
2. 上級医の指導の下に外来患者の診療に参加する。
3. ケース・カンファランスで症例提示を行う。
4. 病棟看護スタッフに担当患者の診断及び治療方針について説明する。
5. 担当した患者に関する文献をインターネットで検索し，科学的に吟味してカンファランスで紹介し討論する。

指導医

渡邊博之，寺田健，鈴木智人，関勝仁，高木祐介，佐藤輝紀，佐藤和奏，田代晴生，

岩川英弘

循環器内科ホームページ：

<http://www.med.akita-u.ac.jp/~naika2/>

循環器内科についてのご質問は、

医局長 佐藤 輝紀

e-mail: satot@med.akita-u.ac.jp

TEL: 018-884-6110, FAX: 018-836-2612

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30	回診	回診	回診	回診	回診
9:00	病棟業務・外来・負荷 心筋シンチ	TAVI	病棟業務・外来	病棟業務・外来・ト レッドミル負荷	病棟業務・外来・ 心肺運動負荷試験
12:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00	外来・心カテ・UCG	外来・心カテ・UCG	総回診・医局会 ケースカンファ レンス	UCG カンファレン ス・心リハカンファ レンス	外来・心カテ・UCG
17:00	新患カンファレンス	心カテカンファレ ンス			